

For the future
2022



国営農地再編整備事業
「上士別地区」竣工記念誌

事業竣工を祝して

上士別地区国営農地再編整備事業促進期成会 会長
竣工式実行委員会 実行委員長 齊藤 敏

「国営農地再編整備事業上士別地区」の完成を迎えるにあたり感謝とお礼を申し上げます。

私事ではありますが、昭和 59 年士別川土地改良区理事に就任以来、地域の要望である農地、用排水路の整備事業に取り組んでまいりました。当時は転作が進行する中用水路の老朽化も進み、転作田への水漏れが発生し復旧整備に苦慮する状況にありました。土地改良区、市役所等に大規模な改修を要請してまいりましたが、経費が嵩むことから事業展開が出来ず、思う様な整備ができない状況でした。

こうした中、上士別地区土地改良推進準備委員会を設立し農地整備も含めた整備を検討してきたところですが、平成 17 年 3 月に地区農家が一致団結し事業採択に向けた国営農地再編整備事業促進期成会を設立いたしました。その際には会長職を仰せつかり、地域の皆さんへの説明会や事業の計画策定、また事業費の予算確保など、関係機関のご協力を得て上士別地区予定受益者から事業実施に対する仮同意を頂き進めてまいりました。

平成 18 年度から 3 年間の調査期間を経て、平成 21 年度に事業着工、平成 28 年度事業完了を目指し事業展開してまいりましたが完了に時間を要し、事業主体の旭川開発建設部をはじめ関係機関のご尽力により、令和 3 年度の完了整備と換地処分をもって念願の国営農地再編整備事業の完了を迎えることとなりました。

長期間に亘る事業ではありましたが、大きな災害に見舞われることや人身事故もなく、完了を迎えることができましたのは、事業関係者の皆様のご尽力と、地域の皆様の事業に対するご理解とご協力のおかげと厚くお礼申し上げます。

結びになりますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

事業竣工を祝して

北海道開発局旭川開発建設部

部長 武井 一郎

国営農地再編整備事業「上士別地区」が平成21年度の着工以来、13年間を要しつつがなく無事完成し、ここにめでたく竣工の運びとなりましたことは、事業主体といたしまして、感激に堪えません。心よりお慶び申し上げます。

上士別地区は、農業者の減少、高齢化が進む中で、効率的で生産性の高い農業経営の取組みが求められていたことから、本事業を契機に、約80戸の小規模個別経営から4つの巨大な法人組織を構築することにより安定した農業経営が可能となりました。この取組みは地域農業者、地域住民が一体とならなければ実現できず、全道的にも極めて先進的な実績であります。

また、本事業により北海道最大級の水田区画である6.8ha、標準区画3.4haへ大区画化を図ったほか、士別市からの交付金により自動走行トラクターや農薬散布用ドローンを導入したことで、さらに効率的な農作業が可能となり、スマート農業の展開が可能となりました。これらは、国が進めるスマート農業のイメージを先取りしており、日本の中でトップランナーといえます。

今後は、構築された法人組織や農業生産基盤に加え、農作業機の共同利用や作業受委託、適切な作付計画の立案、労働力の調整などでさらに効率的な営農が可能となり、地域農業の振興に寄与することを期待しております。

結びに、本事業推進に多大なご尽力、ご協力をいただきました斉藤 促進期成会会長をはじめとする期成会役員の皆様、士別市役所、北ひびき農業協同組合、てしおがわ土地改良区のほか、ご関係の皆様に対し、厚くお礼申し上げますとともに、地域農業のますますのご発展と地域の皆様のご多幸を心より祈念申し上げます、挨拶といたします。

事業竣工を祝して

士別市長 渡辺 英次

国営農地再編整備事業「上士別地区」の竣工に際し、心からお祝い申し上げます。

また、事業の実施にあたり、地域をまとめ事業推進に貢献されました斉藤会長をはじめとする促進期成会役員の皆様、事業主体である北海道開発局、てしおがわ土地改良区、北ひびき農業協同組合の皆様のご尽力に厚くお礼申し上げます。

本市農業の中核をなす稲作は、少子高齢化による米消費の減少や国内需要の縮小に加え、新型コロナウイルス感染症による消費低迷、後継者の確保等、様々な課題を抱えております。

当地区は、道立自然公園「天塩岳」を源流域とする天塩川の最上流部に位置する水田地帯であり、水稻を中心に小麦、豆類も栽培しています。しかし、ほ場が狭小、未整形、排水不良であること、また各施設の老朽化が課題となっていました。

そこで地域の念願でもあった本事業は、期成会が中心となり地域をまとめ、各関係機関とも協議を続け平成 21 年度に着工し、最大 6.8ha に整形されたほ場の大区画化や用排水路のパイプラン化、暗渠排水の整備によって大幅な農作業の効率化が図られました。

また、本事業の実施に伴い、集落営農組織として 4 法人が設立され効率的な営農展開がはじまり、平成 24 年には「上士別 I T 農業研究会」が立ち上げられ、ほ場の大区画化によるスケールメリットを生かした I T 農業の研究、導入により、さらなる作業の省力化に期待が寄せられています。このような中、地元産米による日本酒や甘酒の製造、米や大豆を使った菓子、トマトジュース等の加工品も販売が進むなど、地元農産物の 6 次産業化もみられるところです。

結びにあたり、環境の整った当地区で、今後も安全・安心で高品質な農作物が安定的に生産・供給されることを御祈念申し上げ、感謝とお祝いの言葉といたします。

事業竣工を祝して

てしおがわ土地改良区
理事長 榎本 好男

国営農地再編整備事業「上士別地区」竣工を迎えられましたことに、関係者の皆様には心よりお祝い申し上げます。

本上士別地区は、狭小な圃場が多く、作業効率の向上や排水不良による湿害を要因とした生産性の低下の改善などの課題があり、さらには、高齢化による農地の流動化にも苦勞していたこともあり、地元農業者から土地改良事業を望む声が多くあがっておりました。

平成14年頃より、受益者、士別市、北ひびき農業協同組合、土地改良区にて地域構想の検討が進められ、平成19年に国営農地再編推進室が開設、その後、国による事業整備計画が進み、平成21年事業に着手することができました。

着工から完了までの長期にわたる期間中、事業主体である北海道開発局を始め期成会、受益者、士別市、北ひびき農業協同組合及び関係機関の皆様には、事業推進に向け特段なるご尽力、ご協力を頂いたこと、更には、工事の施工にあたり、多くの測量設計業者様、工事施工業者様に対しまして厚くお礼と感謝を申し上げます。

本事業により完成した最大水田区画6.8ha、標準区画3.4haの大型圃場は、作業効率の更なる向上を図るため法人化を推し進めるとともに、ICTを活用した自動操舵システムのロボットトラクター、自動田植機、自動給水栓の導入により、作業時間の短縮を実現しました。これにより経営規模拡大や高収益作物の生産拡大、6次産業化も図られ、雇用形態の多様化や農業収入の安定により、Uターン、新規就農者の確保にも繋がり活性化された地域として発展したことは、大変喜ばしく、更なる効率化を目指した営農がなされることを期待しております。

今後、てしおがわ土地改良区区域においても、安定した農業経営には、国営上士別地区をモデルとした土地改良事業は、不可欠であることから、計画的な事業展開を努めてまいります。

結びになりますますが、地域農業が、益々発展されることとなりますよう心よりご祈念申し上げます、お祝いの挨拶とさせていただきます。国営農地再編整備事業「上士別地区」の竣工を迎えられましたことに、関係者の皆様に対し心よりお慶び・お祝いを申し上げます次第でございます。

事業竣工を祝して

北ひびき農業協同組合
代表理事組合長 榎本 實男

国営農地再編整備事業「上士別地区」の竣工を迎えられましたことに対し、関係者の皆様に対し心よりお慶び・お祝いを申し上げる次第でございます。

本事業は、平成21年度に事業着工、令和3年度に事業完了され、この間長きにわたり期成会会長をはじめとする期成会役員の方々、受益者皆様のご苦勞と地域の団結力により竣工を迎えられました事に改めまして敬意と感謝を申し上げます。

事業主体であります北海道開発局を始め、関係機関の皆様には、上士別農業が将来につながる素晴らしい圃場に整備いただきましたことに、厚くお礼と感謝申し上げます。

また、平素より当北ひびき農業協同組合の事業・運営に特段のご理解とご協力をいただいております事に、厚くお礼と感謝を申し上げます。

さて、この国営事業につきましては、多くの工事施工業者、測量・設計業者様をはじめとし、優れた先進技術や多くの経験のもと、受益面積825ha・最大水田区画6.8ha・事業費202.7億円を投じた一大事業であり、後世に引き継がれる大規模な圃場に区画整備されたところでございます。

更に暗渠排水や用水・排水対策など農業生産の基本となる対策が施され、生産性の向上・効率的な作業につながる近代的な基盤整備がなされ労働時間の短縮など、ゆとりある農業経営が実現可能となり、米どころ上士別ブランド米を築きあげられますようご期待しているところでございます。

全国的にも、少子・高齢化や後継者不足・農家戸数減少など、多くの問題を抱えておりますが、この国営事業を通しスマート農業の実践に取り組みいただき、新しい営農技術を実証し、農業の素晴らしさを言い伝えていただきたいと思います。

結びになりますが、竣工の感動を忘れることなく、地域が益々発展を続ける事と、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げお祝いのご挨拶と致します。

地域の概要

【位置】

旭川市から北へ約50Kの道北に位置

【農業】

水稻、小麦、豆類、野菜類等

甜菜（日本甜菜製糖士別製糖所）

畜産（めん羊サフォーク種を核とした
産業、観光開発の取組み）



沿革

年 月	内 容
平成 14 年 7 月	上士別地区土地改良推進準備委員会設立
平成 17 年 3 月	上士別地区国営農地再編整備事業促進期成会設立
平成 17 年 4 月	士別市国営農地再編整備事業推進本部設立
平成 17 年 5 月	地区調査採択申請書提出
平成 17 年 12 月	平成 18 年地区調査内定
平成 18 年 4 月	事業地区調査として調査開始（3 年間）
平成 19 年 2 月	集落型経営体ネットワーク作業部会設立
平成 19 年 4 月	第 3 地区に法人化第 1 号『株式会社ファーム 6・6』設立
平成 19 年 4 月	上士別出張所 2 階に国営農地再編推進室を開設
平成 19 年 7 月	上士別地区営農検討会設立
平成 20 年 10 月	事業実施に対する仮同意書の提出
平成 21 年 5 月	国営上士別土地改良事業施行申請の提出
平成 21 年 9 月	国営上士別土地改良事業施行申請実施決定
平成 22 年 8 月	上士別地区国営農地再編整備工事着工
平成 22 年 11 月	IT 農業講演会・無人トラクターデモを開催、全道に発信
平成 24 年 3 月	上士別 IT 農業研究会設立
平成 24 年 3 月	『株式会社ふぁ～むほのか』設立
平成 25 年 5 月	GPS 搭載無人トラクターで初の代かき作業（実証）
平成 25 年 9 月	無人コンバインで初の収穫作業（実証）
平成 27 年 2 月	『農事組合法人きぼうの大地』設立
平成 27 年 4 月	RTK-GPS 基地局運用開始
平成 27 年 4 月	GPS ガイダンス及び自動操舵システム導入
平成 28 年 2 月	『農事組合法人侍士セブン』設立
平成 29 年 6 月	水田の水管理システム（実証）
令和元年 5 月	水管理システム導入
令和 4 年 3 月	上士別地区国営農地再編整備事業完了

工事概要

事業名：国営農地再編整備事業

地区名：上士別

受益面積：825 h a

受益戸数：40 戸（当初 75 戸）

事業量：区画整理 801 h a

農地造成 24 h a

用水路 3 条 L=3.5km

道 路 17 条 L=9.7km

事業費：202.7 億円（当初 155 億円）

事業期間：平成 21 年度～令和 3 年度（当初平成 21 年度～平成 28 年度）

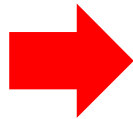
事業主体：北海道開発局旭川開発建設部名寄農業開発事業所



上士別地区の全景（事業実施前）

工事経過

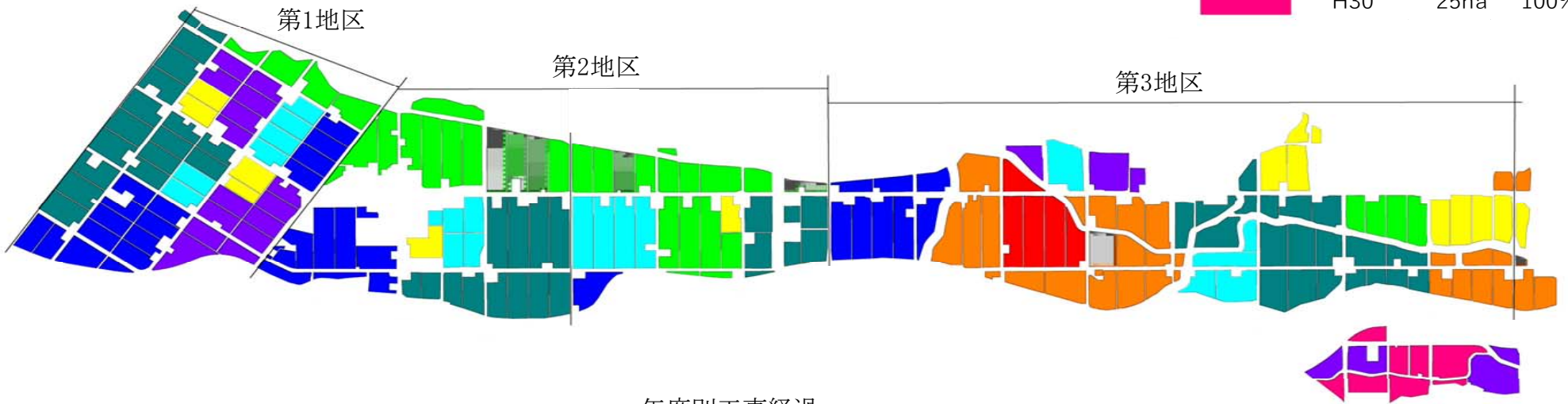
整備前
圃場数：76枚 0.3~0.5ha



整備後
圃場数：8枚 3.4ha



工事年度	面積	進捗率
H22	31ha	4%
H23	91ha	15%
H24	55ha	21%
H25	146ha	39%
H26	198ha	63%
H27	80ha	73%
H28	118ha	87%
H29	81ha	97%
H30	25ha	100%



年度別工事経過

施工状況 1

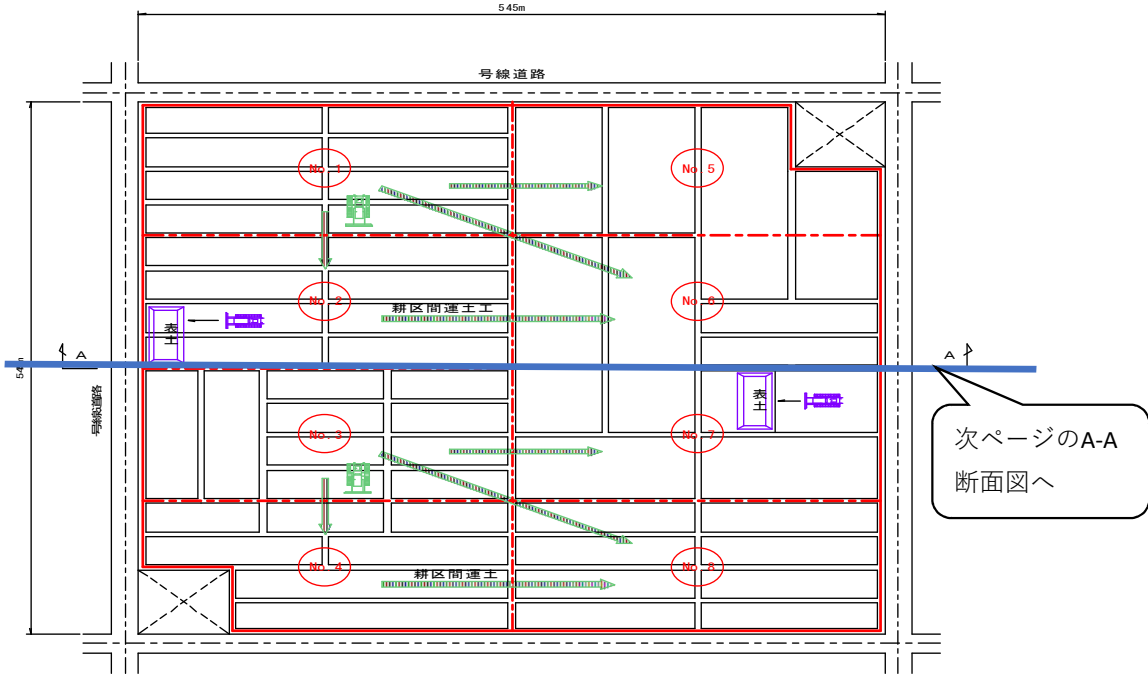
区画整理工事フロー図

緩傾斜区域 1農区 (30ha) 当り

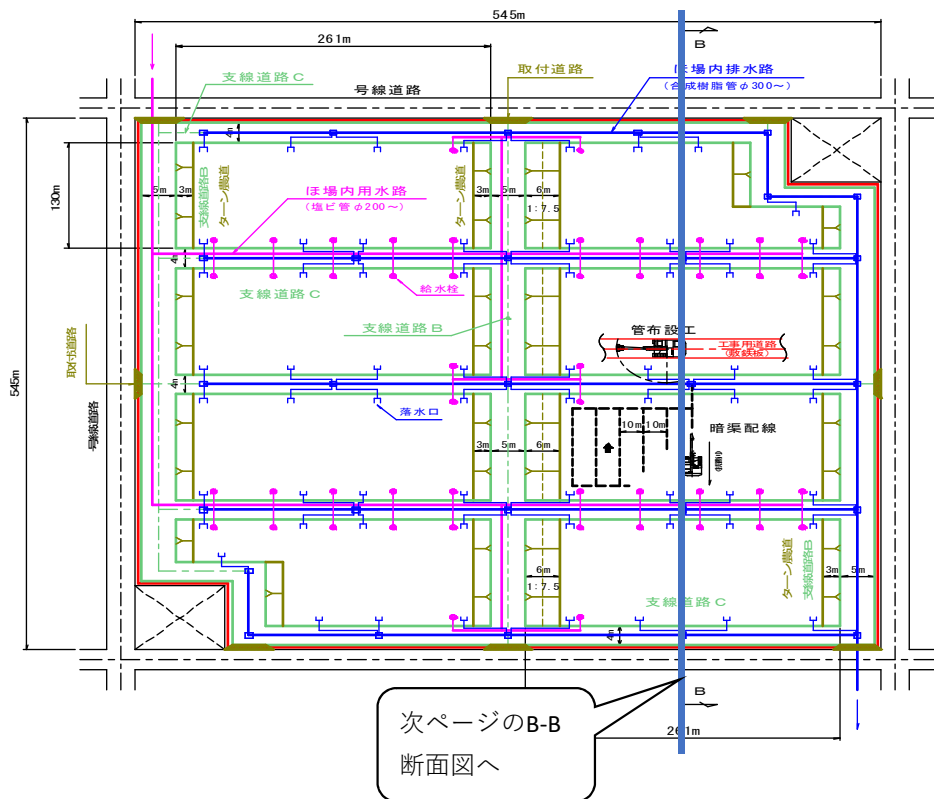


施工状況 2

現況耕区状況

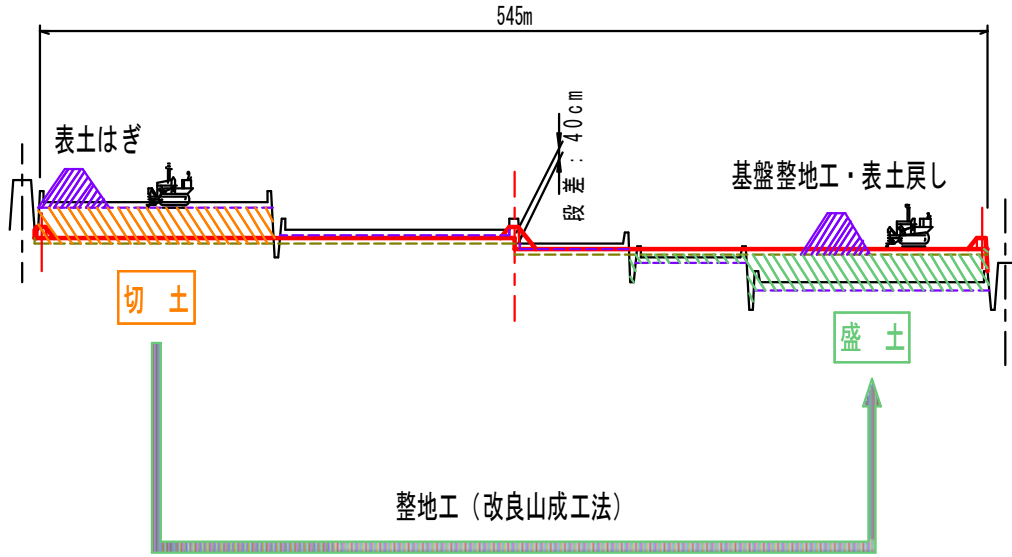


区画整理計画
水田：3.4ha 区画



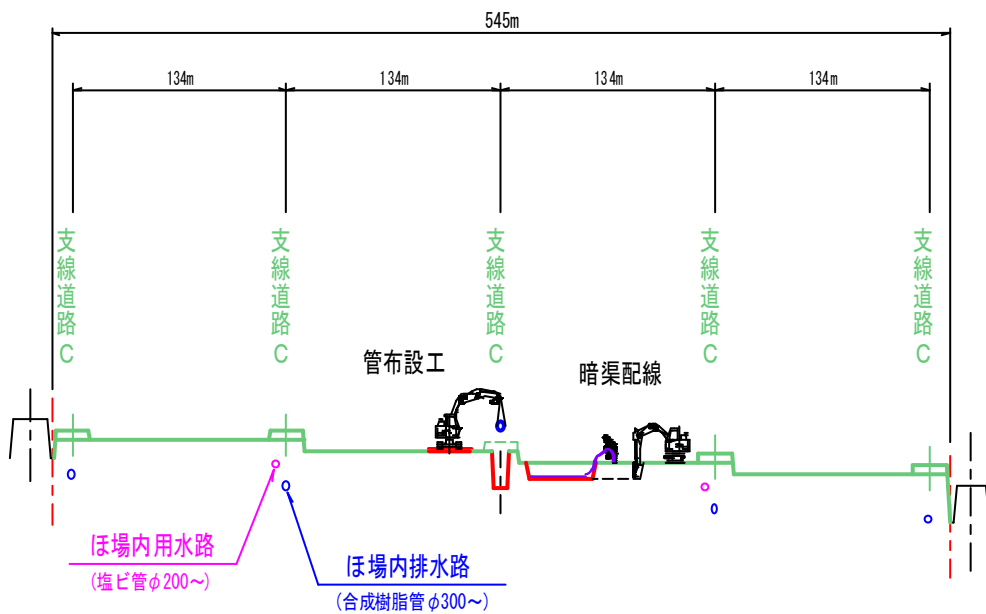
施工状況 3

A-A断面図



運土機種：ブルドーザ、スクレップドーザ、スクレーパ、キャリアダンプ等

B-B断面図



天塩のめぐみ

題字 牧野市長

編集・発行 上士別市経済部国営農地再編推進室

平成22年6月1日 No.1 ～ 令和3年4月1日 No.14発行

2010/6/1 No.1

平成22年度

国営推進室スタッフ紹介

4月から国営農地再編整備事業上士別地区を担当する担当者をご紹介します。



●土別市経済部国営農地再編推進室
- 課長 佐藤 誠一 (市)
- 課長 佐藤 誠一 (JA)

上士別地区

土別市換地委員会

昨年11月に、本事業の換地準備を促進すべく...

調査を実施しました。季節が過ぎたかのように...

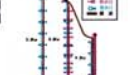


全国農業会議所に参加

緊急を要する土地再編整備事業の推進の...

平成22年度事業内容

予定期間 3月～4月 建設費 1億1100万円
4区 (平均1.1ha)



●工事概要
- 敷土 2.4ha
- 農地の再造成 L1(200~300m)

●23年度工事予定について
平成23年度の工事予定については、10町5万平方...

●24年度工事予定について
平成24年度の工事予定については、10町5万平方...

2011/1/25 No.3

平成23年度

IT農業講演会・デモ実施

11月26日(金)に「大区域水田における...

の前に準備物等が置けると警告を鳴らした...

野口教授は「こうした技術が実現すると...

大規模農業の経営に不可欠である農作...

講演会及び無人トラクタのデモンスト...

講演会及び無人トラクタのデモンスト...

午前からは講演会が行われ、旭川農研...

午前からは講演会が行われ、旭川農研...

北海道大学大学院農学研究院の野口博...

北海道大学大学院農学研究院の野口博...

午後からは、本年度に予定されている...

午後からは、本年度に予定されている...

すべて無人により実施されました。また...

すべて無人により実施されました。また...



全体事業エリア及び平成22年度工事設計概略

2010/9/17 No.2

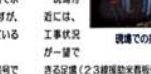
いよいよ工事が始まりました

今年の夏は全国的に記録的な猛暑となり...



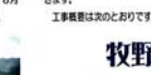
現場の様子

さて、本年度の工事については、前号...



現場の様子

工事が行われているのは、2.3区...



現場の様子

平成23年度の事業内容

予定期間 3月～4月 建設費 1億1100万円



●工事概要
- 敷土 2.4ha
- 農地の再造成 L1(200~300m)

●23年度工事予定について
平成23年度の工事予定については、10町5万平方...

●24年度工事予定について
平成24年度の工事予定については、10町5万平方...

牧野市長による提案活動

本地区については対前年比1.75%増...

この中で実施した主要な提案活動は次の...



市長による提案活動

●7月9日 国土交通省 (松山事務所)

●7月23日 国土交通省 (旭川事務所)

●7月28日 国土交通省 (旭川事務所)

●7月28日 国土交通省 (旭川事務所)

●7月28日 国土交通省 (旭川事務所)

2011/7/15 No.4

平成23年度

工事進捗状況・今後の予定

●22年度工事について
昨年8月から本誌にてご報告した22年度...

●23年度工事について
平成23年度の工事については、10町5万平方...

●24年度工事について
平成24年度の工事については、10町5万平方...

●24年度工事について
平成24年度の工事については、10町5万平方...



面積全道1の圃場完成!

昨年農工事業の農業生産法人「ファーム...

6月3日GPSナビゲーションによる...

その後、6月6日は田間作業も完了し...

2012/7/1 No.5

平成24年度

上士別 IT 農業研究会設立

平成24年3月1日、上士別 IT 農業研究会...

平成24年3月1日、上士別 IT 農業研究会...

また、7月4日より札幌市、苫小牧市...

また、7月4日より札幌市、苫小牧市...

●国営推進室スタッフ紹介

●国営推進室スタッフ紹介

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)



面積全道1の圃場完成!

昨年農工事業の農業生産法人「ファーム...

6月3日GPSナビゲーションによる...

その後、6月6日は田間作業も完了し...

国営推進室スタッフ紹介

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

●室長 佐々木 勲 (市)

平成26年度工事実施内容及び今後の予定



用地確定測量が始まります

平成26年度より施工の開始において、用地確定測量が実施されます。確定測量とは、工事後の境界を確定するための行うもので、農地、農道、宅地等の用途の境界を確定する作業となります。現在、5月に土地測量員より測量となる予定であり、測量業者が測量委託後、現地を測量し土地境界の確定を行います。その後、皆さんに測量の目的や内容となる土地の確定を行う予定となっております(測量計画を有ります)。



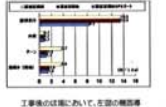
今後、立ち会いなどをお願いすることもございますのでご協力をお願いいたします。

ICT 農業推進事業について

平成26年度より施工の開始において、「国家戦略特別区域整備事業（ICT農業推進事業）」として土地測量において、RTK-GPS 高精度測量、GPS ガイダンス及び自動操舵システムの導入を行ってまいりましたが、平成26年度からは「ICT農業推進事業」として実施する予定となりました。平成26年度の事業内容としては、ICTを活用した農業機器等の実用化、デモ等を実施してまいります。詳細については、まだ決定しておりますので、内容が決まり次第、皆様へ情報提供させていただきます。



GPS ガイダンス・自動操舵システムを利用した田植え作業



工事現場の位置について、各田の位置入による土地測量により、1日あたりの作業範囲の計画上

GPS ガイダンス及び自動操舵システム導入

土地測量は、測量業者が測量委託後、現地を測量し土地境界の確定を行います。その後、皆さんに測量の目的や内容となる土地の確定を行う予定となっております(測量計画を有ります)。



ICT 農業推進事業について

土地型 ICT 農業研究会 長の水田さん所有のドローンをお借りし、稲刈り後の生育状況を把握できる写真撮影を行いました。これにより水田周辺の中心部も確認しやすくなり、今後の作業の手助けになることが期待されます。



平成29年度では、飛行型ドローンで撮影した画像を基に、土地型 ICT 農業研究会の稲刈り後の生育状況を把握できる写真撮影を行いました。これにより水田周辺の中心部も確認しやすくなり、今後の作業の手助けになることが期待されます。

ICT 農業推進事業について

平成26年度から実施した ICT 農業推進事業ですが、平成26年度、27年度にはドローンによる測量、自動操舵、RTK-GPS 高精度測量の導入を行い、平成28年度には土地測量員による測量、GPS ガイダンス及び自動操舵システムの導入を行いました。平成29年度からは、土地型 ICT 農業研究会の稲刈り後の生育状況を把握できる写真撮影を行いました。これにより水田周辺の中心部も確認しやすくなり、今後の作業の手助けになることが期待されます。



事務所移転について
4月28日(木)より、国産推進は事務所を市役所3階に移転いたします。電話：FAX番号は移転後も変更ありませんので、よろしくお問い合わせください。



第15回期成会定期総会は中止

本年度の定期総会の中止に伴い、期成会再編委員会及び名簿調査関係事務所に依頼し、広報「天塩のめぐみ」への掲載をお願いいたします。

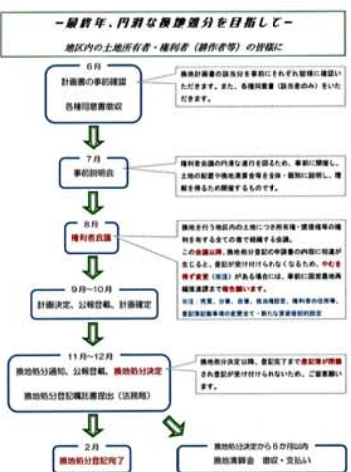
加川開発建設部名簿調査関係事務所 (前) 所長 中村 実人
日頃より期成会の皆様には、事業の実施にあたり御協力いただき、心より御礼申し上げます。令和2年度の事業費は2億円で、令和元年度補正予算(2億1,300万円)の1億7,000万円と



第16回期成会定期総会は中止

定期総会の中止に伴い、期成会再編委員会及び名簿調査関係事務所へ依頼し、広報「天塩のめぐみ」への掲載をお願いいたします。

加川開発建設部名簿調査関係事務所 (前) 所長 中村 実人
日頃より期成会の皆様には、事業の実施にあたり御協力いただき、心より御礼申し上げます。令和2年度の事業費は2億円で、令和元年度補正予算(2億1,300万円)の1億7,000万円と



※状況によっては、日程変更となる可能性があります。

国営農地再編整備事業上士別地区の施工にあたり豊かな経験と優れた技術をもって鋭意努力され工事の完成に寄与された工事施工業者及び測量・設計業者一覧表

工事施工業者 (五十音順)

- ・ 赤川建設興業 株式会社
- ・ 荒井建設 株式会社
- ・ 株式会社 飯島組
- ・ 株式会社 生駒組
- ・ 株式会社 鈴木組
- ・ タカハタ建設 株式会社
- ・ 株式会社 田中工業
- ・ 株式会社 谷組
- ・ 株式会社 橋本川島コーポレーション
- ・ 株式会社 堀口組
- ・ 株式会社 盛永組
- ・ 株式会社 山元組

測量・設計業者 (五十音順)

- ・ 株式会社 アサヒ建設コンサルタント
- ・ アルスマエヤ 株式会社
- ・ 株式会社 イーエス総合研究所
- ・ 株式会社 エル技術コンサルタント
- ・ 株式会社 環境保全サイエンス
- ・ 五大建設コンサルタント株式会社
- ・ サン技術コンサルタント 株式会社
- ・ 株式会社 三幸ランドプランニング
- ・ サンスイコンサルタント 株式会社
- ・ 株式会社 ズコーシャ
- ・ 住鉱コンサルタント 株式会社
- ・ 株式会社 地域計画センター
- ・ 株式会社 地圏総合コンサルタント
- ・ 東光コンサルタント 株式会社
- ・ 株式会社 日興ジオテック
- ・ パブリックコンサルタント 株式会社
- ・ 株式会社 富士建設コンサル
- ・ 一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会

国営農地再編整備事業 「上士別地区」

事業経過報告

旭川開発建設部 名寄農業開発事業所

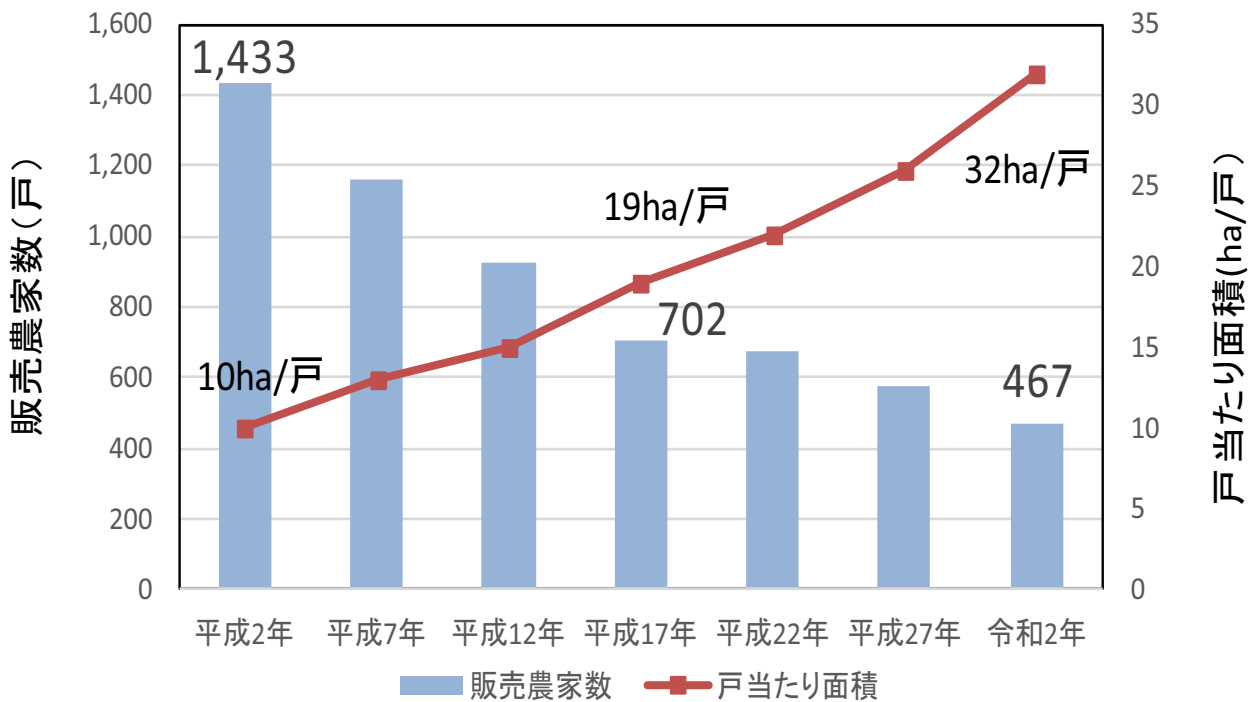
地域農業の課題

着工前

- ▶ 農家戸数の減少
- ▶ 土地の分散化
- ▶ 湿性土壌による排水不良
- ▶ 不整形、狭小なほ場

地域の課題 ▶ 農家戸数の減少

農家戸数の減少に伴う規模拡大により、効率的に営農を行う必要性。

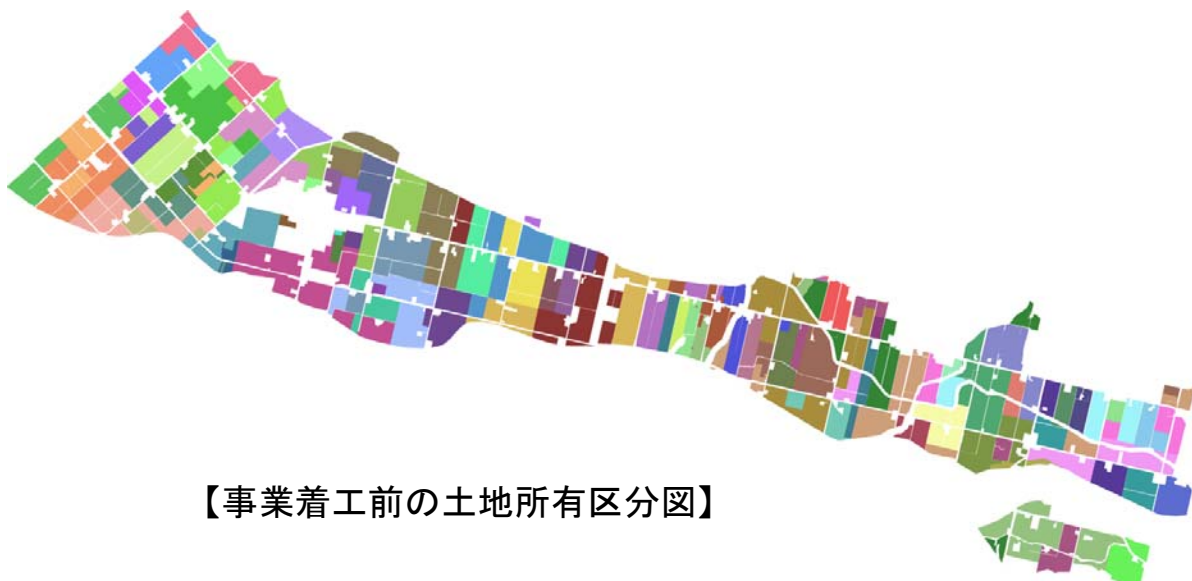


士別市の販売農家数と戸当たり面積の推移

3

地域の課題 ▶ 土地の分散

離農跡地の継承・取得による農地分散が、規模拡大を妨げている。



【事業着工前の土地所有区分図】

4

地域の課題 ▶湿性土壌による排水不良

土壌に起因する排水不良により、ほ場内作業の作業効率性が低下。



5

地域の課題 ▶不整形、狭小なほ場

天塩川と山地に挟まれた細長い地形上に作られたほ場は不整形なほ場、狭小なほ場が多く、大型機械による営農が困難で、作業効率は低い。



不整形なほ場



大型機械化体系の
確立が困難



狭小なほ場

6

これらの課題を解消するため、平成17年3月に国営事業の促進期成会を設立し、平成21年度に事業着工に至る。



事業の目的

▶既耕地を再整備する区画整理と農地造成を一体的に施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農地経営の合理化と効率的な土地利用を図り、農業の振興を基幹とした本地域の活性化に資することを目的。



事業概要

- ◇ 受益面積 825ha
- ◇ 受益戸数 75戸
- ◇ 主要工事 区画整理801ha 農地造成24ha
用水路工 3条 L=3.5km
道路工 17条 L=9.7km
- ◇ 事業費 202.7億円
- ◇ 事業期間 平成21年度～令和3年度

9

▶区画整理

狭小な区画を解消し、営農経費の節減等を図る。



【整備前】

62区画
0.3~0.4ha



【整備後】

4区画
最大6.8ha

▶暗渠排水

ほ場の排水機能低下を解消し、作物の収量や品質の向上を図る。



11

▶農地造成

区画整理と一体的に整備し、効率的な土地利用の高度化及び労働生産性の向上を図る。



▶用水施設

用水路のパイプライン化により、水管理の効率化、省力化を図る。



13

▶ほ場内用排水路

ほ場内用・排水路のパイプライン化により、水管理の効率化、省力化を図る。



14

▶道路

幅員狭小を解消し、農産物流通の合理化や農村の生活環境の改善を図る。



15

▶事業の推進

- ▶上士別地区国営農地再編整備事業促進期成会
- ▶上士別地区換地委員会
- ▶上士別 I T 農業研究会
- ▶士別市
- ▶てしおがわ土地改良区
- ▶JA北ひびき
- ▶上川農業改良普及センター
- ▶工事にご協力いただいた地域の方々
- ▶工事施工者
- ▶設計コンサルタント

16

事業実施の結果



- ▶ほ場の大区画化に伴う大型作業機械体系の確立
- ▶区画整理による作業効率の向上
- ▶担い手農家への農地の集積

17

▶ほ場の大区画化に伴う大型作業機械利用体系の確立

ほ場区画の拡大と排水改良による農作業機械の走行性の向上から、大型作業機械利用体系の確立へ



18

▶区画整理による作業効率の向上

支線農道等の整備による作業効率の向上、および
末端用排水路整備による、水管理の効率化



支線道路



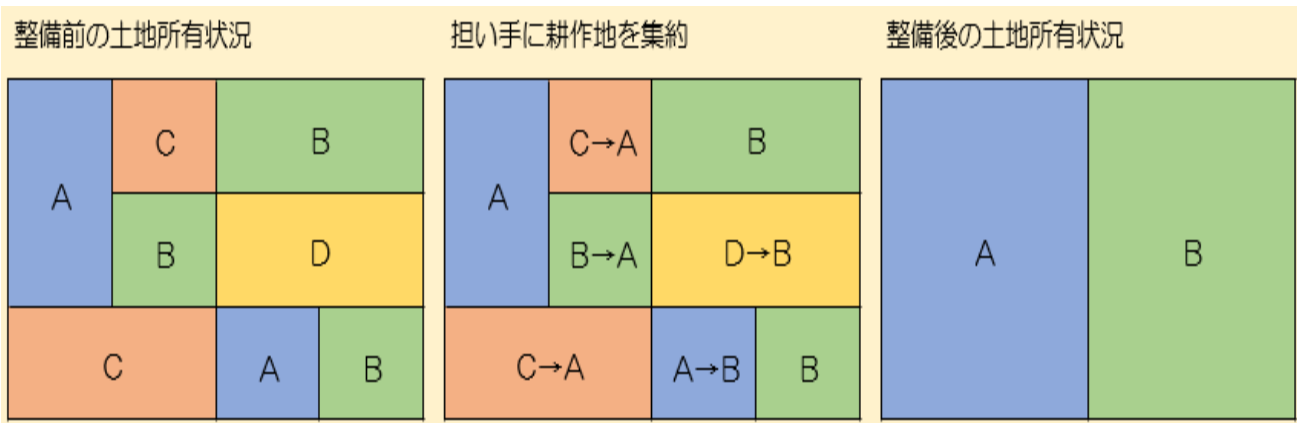
ターン農道



自動給水栓

▶担い手農家への農地の集積

農地分散を解消し、担い手への土地集約化が
すすむことにより、ほ場の大区画化も促進



担い手 A, B への換地処分による農地集積

◆事業実施の効果

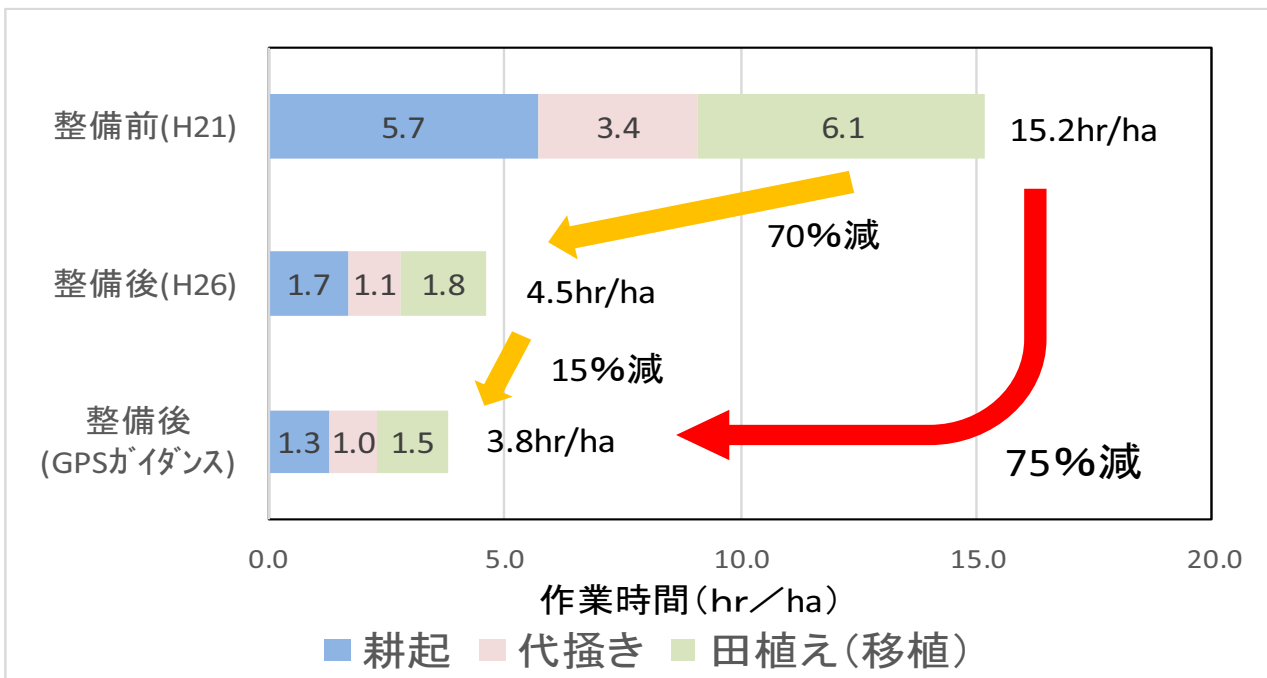


- ▶ 営農時間の削減
- ▶ 集落営農組織の構築

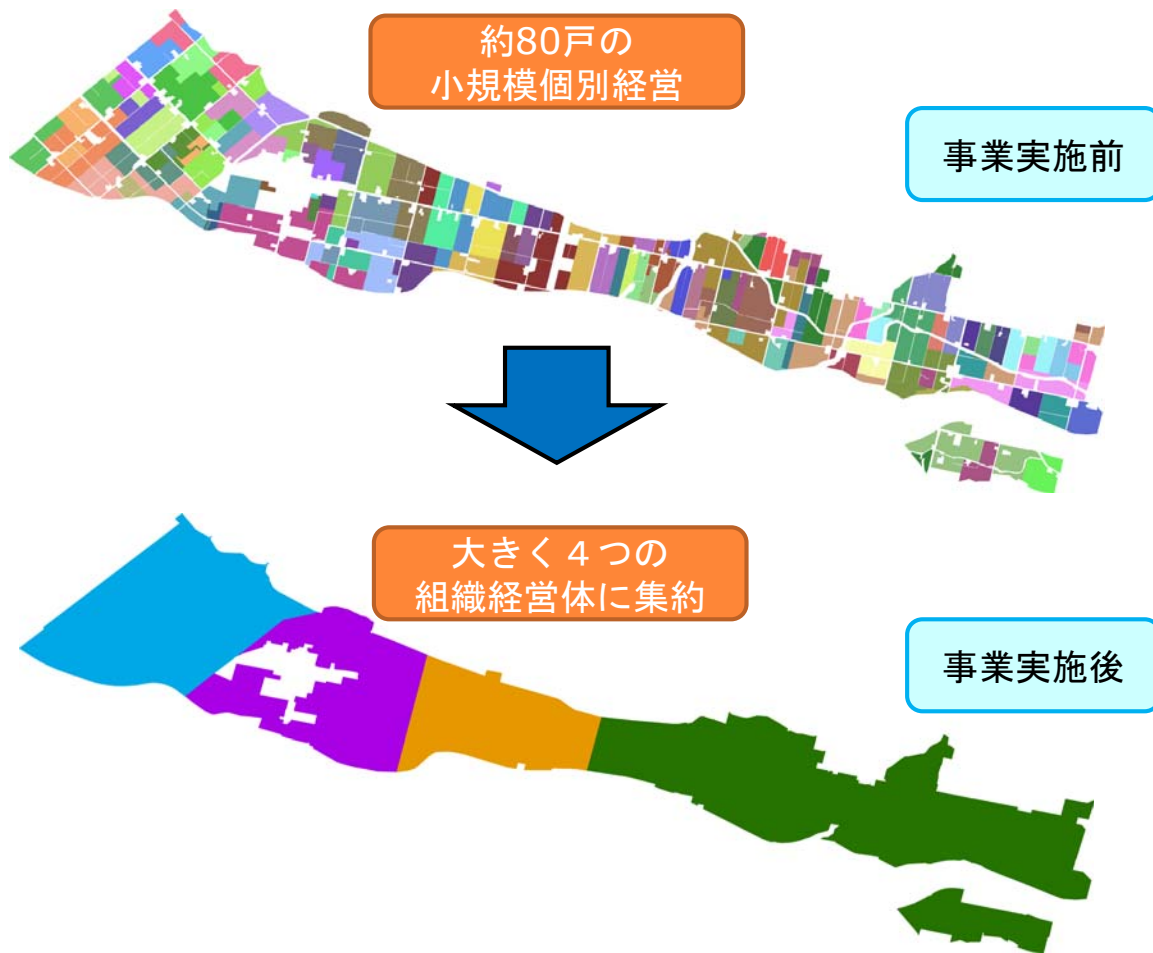
事業を契機とした生産拡大と地域収益力の向上

◆事業実施の効果 営農時間の削減

ほ場の大区画化、暗渠排水の整備により、整備後のほ場では大型作業機械への転換が図られ、巡回回数の減少や作業速度が向上し、耕起～代掻き～田植えにかかる営農時間は75%削減



◆事業実施の効果 集落営農組織



23

◆地域への波及効果①

上士別 I T 農業研究会等によるスマート農業導入推進



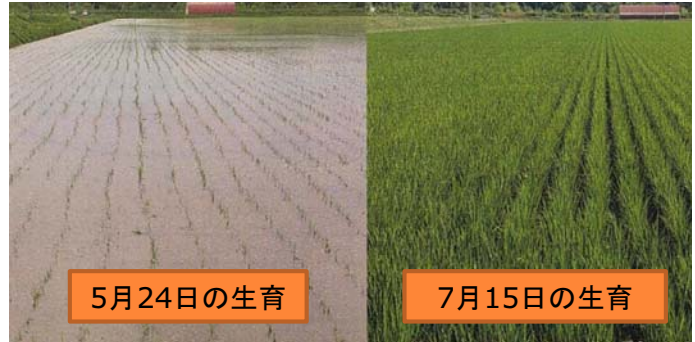
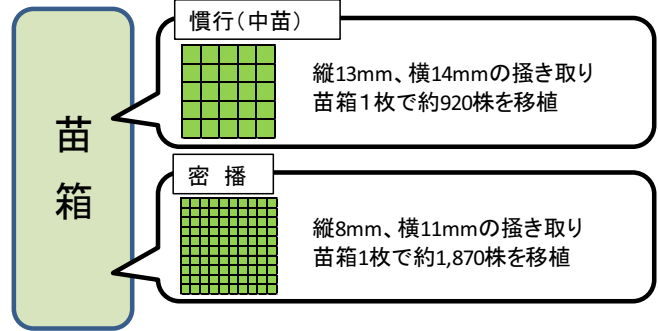
24

◆地域への波及効果② 新たな営農の試み

更なるコスト縮減、労働時間短縮への挑戦



湛水直播栽培



密播苗栽培

将来の地域農業

スマート農業導入推進
集落営農組織への取り組み
新たな栽培技術への挑戦
6次産業化の取り組み

更なる地域農業の発展を祈念します

上士別地区国営農地再編整備事業促進期成会

竣工式実行委員会

委員長：齊藤 敏

委員：北川耕一 佐伯洋一 後藤田隆 米倉信幸 中山義隆 水留良一

しおり部会

リーダー：山下将史

委員：松浦秀嗣 佐伯洋平 水留 大

令和4（2022）年2月